

総合科学技術会議の審議状況について

文 部 科 学 省

総合科学技術会議の任務

【総合戦略】

科学技術の総合的かつ計画的な振興を図るための基本的な政策の調査審議

【資源配分方針等の重要事項】

科学技術に関する予算、人材等の資源の配分の方針、その他の科学技術の振興に関する重要事項の調査審議

【大規模研究開発の評価】

科学技術に関する大規模な研究開発その他の国家的に重要な研究開発の評価

(1) 最近の主な決定、答申等

平成16年10月 「平成17年度概算要求における科学技術関係施策の優先順位付けについて」等（報告）

…科学技術関係施策の優先順位付け及び独立行政法人、国立大学法人等における主要な科学技術関係業務の見解を報告。

「基本政策専門調査会の設置等について」（意見）

…第3期科学技術基本計画の策定に資する調査・検討を行う基本政策専門調査会の設置を決定。

平成16年9月 「科学技術連携施策群の創設・推進について」（決定）

…「科学技術連携施策群」の8つのテーマを決定。

平成16年7月 「平成17年度の科学技術関係予算の改革について」（決定）

…「科学技術連携施策群」の創設・推進や競争的研究資金の改革の徹底及び重点的拡充等の方針を決定。

「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」（意見）

…ヒト受精卵、人クローン胚等のヒト胚について、最新の情勢に基づき、それらの位置付け及び取扱いを、研究における取扱いを中心に検討し、今後のヒト胚の取扱いに関する社会規範の基本的考え方を提言。

「科学技術関係人材の育成と活用について」（意見）

…創造性豊かで、国際的にリーダーシップを発揮できるような、広い視野と柔軟な発想を持つ人材の育成に重点を置く等

科学技術関係人材の育成と活用に関する改革の基本的方針を示すとともに、具体的な方策を提言。

平成16年5月 「平成17年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」(意見)

…平成17年度の科学技術に関する資源配分の方針を決定。

(2) 本会議の開催状況

第40回 平成16年10月21日(木)

- ① 平成17年度科学技術関係予算編成に向けた取り組みについて
- ② 基本政策専門調査会の設置等について

第39回 平成16年9月9日(木)

- ① 我が国における宇宙開発利用の基本戦略
- ② 平成17年度科学技術関係予算改革の取組みについて

第38回 平成16年7月23日(金)

- ① 平成17年度の科学技術関係予算の改革について
- ② ヒト胚の取扱いに関する基本的な考え方について
- ③ 科学技術関係人材の育成と活用について

第37回 平成16年5月26日(水)

- ① 平成17年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針について
- ② 第2期基本計画3年次フォローアップについて
- ③ 大学等における知的財産戦略について
- ④ 「ヒト胚の取扱いの基本的考え方」の検討状況について
- ⑤ 平成15年度科学技術の振興に関する年次報告案について

第36回 平成16年4月27日(火)

- ① 平成17年度の科学技術分野の重点事項について
- ② 地球観測サミットの結果について

第35回 平成16年3月24日(水)

- ① 平成17年度の重点化の方向性について
- ② 今後の地球観測に関する取り組みの基本について(中間とりまとめ)
- ③ 科学技術振興調整費について
- ④ 安全・安心な社会の構築のための科学技術について

※本会議及び各専門調査会、プロジェクトチーム等の配布資料については、内閣府ホームページ(<http://www8.cao.go.jp/cstp/>)より閲覧可能。

総合科学技術会議議員名簿

議長	小泉	純一郎	内閣総理大臣
議員	細田	博之	内閣官房長官
同	棚橋	泰文	科学技術政策担当大臣
同	麻生	太郎	総務大臣
同	谷垣	禎一	財務大臣
同	中山	成彬	文部科学大臣
同	中川	昭一	経済産業大臣
同	阿部	博之	東北大学名誉教授
同	大山	昌伸	株式会社東芝顧問（非常勤）
同	薬師寺	泰蔵	慶應義塾大学客員教授
同	岸本	忠三	大阪大学客員教授
同	黒田	玲子	東京大学教授
同	松本	和子	早稲田大学理工学部教授
同	吉野	浩行	本田技研工業（株）取締役相談役
同	黒川	清	日本学術会議会長

1 平成17年度に向けた基本的考え方

- 平成17年度は、科学技術基本計画の最終年度であると同時に、次期科学技術基本計画の方向性を決定する重要な年
- 「我が国の発展基盤となる研究開発の着実な推進」、「我が国の経済を発展させ国際競争力を確保する科学技術活動の推進」、「安心・安全な生活を実現する科学技術活動の推進」、「科学技術システムの改革等」という方向性に合致する施策を重視。

2 科学技術の戦略的重点化

(1) 基礎研究の推進

知の創造と活用の源泉となる質の高い基礎研究を、競争的環境の下で推進

(2) 国家的・社会的課題に対応した研究開発の重点化

1) 重点4分野及びその他の分野の着実な推進

我が国が進んでいる、又は強みを有する分野・領域を重点的に推進；分野融合領域

①重点4分野

- (a)ライフサイエンス(ポストゲノム研究、ITやNTとの融合、がんの予防・診断等)
- (b)情報通信(ITシステムの安全性・信頼性向上、ユビキタスネットワーク、ソフトウェア人材等)
- (c)環境(地球温暖化、全球水循環変動等に係る統合的な観測システムの構築等)
- (d)ナノテク・材料(分野融合、府省「連携プロジェクト」の着実な推進等)

②その他の分野

- (a)エネルギー(水素利用/燃料電池、バイオマス利活用、核融合等)
- (b)製造技術(低コスト・高付加価値化製造技術、環境負荷の少ない製造技術等)
- (c)社会基盤(総合的な安全保障・危機管理に資する科学技術の応用実証等)
- (d)ロケット(安全保障に資する宇宙開発利用、輸送系・衛星系の信頼性向上等)

2) 国家的・社会的課題への新たな取組に向けた科学技術の戦略的・総合的な推進

- ①安心・安全な社会を構築するための科学技術の総合的・横断的な推進
個人生活の安心・安全、社会・経済の安全、国の安全に関する科学技術の推進
- ②国の持続的発展の基盤となる重要な科学技術の精選・推進
比較優位にあり、長期的にも国際競争の中で優位性を確保すべき科学技術等

(3) 我が国の経済や産業技術力を発展・強化する科学技術の推進

- ①経済活性化のための研究開発プロジェクト(みらい創造プロジェクト)の推進
- ②「新産業創造戦略」に基づく研究開発の推進

3 科学技術システムの改革

(1) 更なる競争環境の醸成及び整備

- ①競争的研究資金の改革及び拡充
倍増目標に向け重点的に拡充；大学改革等との一体的な取組等
- ②大学改革の推進
優れた研究教育拠点を目指し、人事等の競争的環境の拡大と教員の資質向上等
- ③大学等の施設整備
優れた研究施設の計画的な整備の着実な実施等

(2) 優れた成果の創出とその社会への還元

- ①産学官連携の推進
産学官連携を推進するための体制の強化と研究成果の積極的発信等
 - ②研究開発型ベンチャーの振興
起業家及びその支援者輩出のための環境整備；起業時、初期段階における支援等
 - ③知的財産の戦略的活用
知的財産の管理・活用を推進する環境整備；研究開発や標準化との一体的推進等
 - ④地域科学技術の振興
公共事業依存型から科学技術駆動型の地域経済発展への流れを加速等
- ### (3) 各府省における研究開発評価システムの改革
- 評価部門への研究経験者の配置、評価の高度化のための調査・分析体制の整備等

4 科学技術活動を支える基盤の充実

(1) 科学技術関係人材の育成・確保

国際的に活躍する研究者・技術者の育成・確保、
科学技術活動を支える専門的人材の育成・確保等

(2) 科学技術活動の国際化の推進

「競争」と「協調」のバランス、
アジア諸国との政策対話の実施等

(3) 科学技術を通じた心の豊かさの実現

国民が夢と感動を抱ける機会の提供、
理解増進のための場・機会の拡充等

5 重点化及び整理・合理化・削減の進め方

企画(PLAN)、実行(DO)、評価(SEE (check, action))のプロセスの進化・徹底をめざし、必要な重点化及び整理・合理化・削減を実施。

→平成17年度の科学技術関係概算要求の優先順位付け等(独立行政法人や国立大学法人等も対象)

資料2

基本政策専門調査会の設置等について（案）

平成16年10月21日
総合科学技術会議

- 1 総合科学技術会議令第2条第1項に基づき、総合科学技術会議に基本政策専門調査会を設置する。
基本政策専門調査会は、科学技術創造立国を目指し、第3期科学技術基本計画の策定に資するため、国際社会及び国内における情勢をも踏まえて、科学技術に関する基本的な政策について調査・検討を行う。
- 2 総合科学技術会議令第1条第1項に基づき、総合科学技術会議に、科学技術に関する基本的な政策について調査・検討を行う専門委員をおくことにつき、内閣総理大臣に意見具申する。

参 考

基本政策専門調査会の進め方について

1. 検討課題例

◎政策の枠組み

基本理念、資源配分、重点分野、基礎研究 等

◎研究開発システム

大学改革、人材育成 等

◎産業競争力の強化

産学官連携、地域科学技術振興 等

◎社会とのかかわり

社会とのチャンネルの構築 等

2. 調査・検討期間

専門調査会設置後、おおむね 1 年を目途として、科学技術に関する基本的な政策をとりまとめる。